

「孫心弁当」で元気に

高齢者に届け喜ばれる

城北地区 津山商高生手作り
一人暮らし宅

一人暮らしのお年寄りに食べてもらおうと、津山商業高校（山北）の生徒たちが16日、「手づくり孫心（まごころ）弁当」と名付けた昼食をこしらえ、城北地区の83歳以上の高

齢者100人に届け、喜ばれた。

朝から調理室に集まった3年生有志37人は、高齢者の好みに合うよう栄養のバランスや食べやすさ、味付けに配慮した、巻きずしや豚

肉入りホウレンソウの

おひたし、カニ団子の野菜あんかけなど9品を調理。卵焼きを作ったり、天ぷらを揚げたりと皆一生懸命作業し、できあがった料理を弁当用トレーに彩り良く

詰めていった。

「孫心弁当を食べて元気百倍！ お風邪などひかれませんように」のメッセージカードを作った料理をトレーに詰める津山商高生



添えて唇前、同地区の民生委員の案内で各家を訪問。「真心込めて作ったので食べてください」と笑顔で弁当を手渡した。

孫心弁当作りは、家庭科の授業の一環として歳末たすけあい募金を活用し、毎年この時期実施しており24回目。